

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりの務めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2019年10月

エフエム八ヶ岳の第157回番組審議会は10月19日、北杜市小淵沢町のエフエム八ヶ岳演奏所ホールで開かれました。議題は10月からの新番組「暮らしの羅針盤」(毎月第1・2木曜日放送)。明治大講師の飛矢崎雅也さんに地方議会のあり方、課題など地元山梨、北杜などの事例を引き合いにお話を伺っていきませんが、第1回の放送内容について感想や意見を交わしました。審議委員6名、放送局から1名が出席。委員からの主な意見は次の通りです。

- ・「地方政治」をテーマにした番組が誕生するとは思っていなかった。身近な政治に対して投げやりのになっている市民への警鐘番組になることを期待したい。
- ・とても聞きやすく全体的に良かったと思う。ただただ純粹に政治に興味を持っているパーソナリティーの人となりに触れ、好感が持てた。地方政治、特に身近な市議会のことについても、取り上げていくとのことなので、政治に少しでも関心を持てるよう期待している。
- ・一言でいえば、なかなか面白そうで、今までのエフエム八ヶ岳の放送にはなかった番組として興味を持てた。身近な政治だけに、今後の展開に注意をしながら進めることが必要だ。
- ・普段から敬遠しがちな話題だが、この番組を通じて、少しでも市行政、市議会、ひいては地方政治の在り方に興味や関心を持っていきたい。
- ・話の構成も良く、口調もはっきりしていて興味深く聞ことができた。政治は難しいとか、堅苦しいとかという概念を捨て、日常生活に密着した気軽な普段着のようなもという認識を新たにした。
- ・今後は地方政治の理念的な話から、具体的な話に内容を展開していくとのことだが、広い見方、一方に偏しない見方を提示してもらいたい。
- ・政治に関心のない人の側からの切り口でも話を聞いてみたい。
- ・敬遠しがちな政治だが、この番組を通じて身近な政治に対して“監視の目”を持てるように勉強をしていきたい。そんな啓蒙的な内容を期待する。
- ・挿入した音楽だが、その音楽が好きになった理由を交えながら紹介していた。選曲にメッセージ性を感じた。そこに好感が持てたが、政治学者のイメージとは違っていた。
- ・地方政治に関しては偏見と無知の塊で、客観的に見たり、考えたりしなければいけないと思いつつ、方法が見つからずなおざりにしてきた部分があった。この番組で勉強していきたい。
- ・初回の番組を聞いていて、私のようにさほど政治に興味のない者も、次回の話はどんな内容になるのだろうと関心を持つことができた。この番組を通して、政治がもっと身近なものになればよいと感じている。